

大発生後、残る爪跡

昨年の夏の猛暑＆少雨により市内各所で大発生したシバツトガ。サカエグリーンの現場では今もその爪痕が残っています。今回は昨年から今年の被害の経過を振り返ってみたいと思います。

シバツトガ成虫▼



2024年3月



枯れた部分の裸地化

4月



裸地状態

5月



裸地状態

6月



わずかに回復がみられる



補修部分の回復

完全な回復にはまだ時間がかかりそうです

▲シバツトガ幼虫
丸和バイオケミカル
パンフレットより



裸地部分の近景



2023年8月
降雨がなく、散水していない部分（奥）
では暖地型芝草が枯れてしまった
（手前部分は散水により緑度を維持）



枯れ部分の近景

水枯れによる枯れにしては範囲が不定形のため、虫害が疑われました

2023年4月



異常なし

7月



異常なし

8月



枯れている部分あり

9月



密度低下部分あり
一部回復もみられる

10月



枯れている部分あり
※成虫大発生※

11月



枯れた部分の密度低下
右上へ

シバツトガ（チョウ目メイガ科）

成虫：灰白色、体長8～9mm程度

- 発生は5月上旬～6月中旬、7月上旬～8月中旬、8月下旬～10月中旬（地域にもよる）

幼虫：灰褐色～暗褐色、孵化直後1mm位、老齢幼虫20mm程

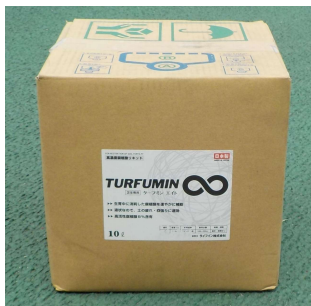
- 地際に土や芝かすで苞（つと）を作る
- 夜行性（8～9時頃が中心）、芝を食害

防除：成虫発生ピーク後の殺虫剤散布（地際に潜むため、薬剤散布前に芝を刈り込み、活動が活発化する直前の夕方以降に散布するとより効果的）

製品紹介

ターフミン∞（エイト）

腐植酸を速やかに補給



- 一般名称：液状腐植酸
- 内容成分：腐植酸 約8%
- 包装：10L/缶
- 施用目安：1～2ml/m² ※100～200倍に希釈 通年散布可能

- 高活性・高濃度腐植酸を液状化した資材です。
- 生育中に消耗した腐植酸を速やかに補給します。
- 根張り促進、肥効の向上、土壤微生物活性化の効果が期待できます。
- 地力が衰えた芝生地、植栽木周り、施肥の効果がイマイチな芝生地への散布がおすすめです。

プラントアクティベーター

ストレス下で光合成能が落ちた植物に



- 一般名称：クエン酸・ステビア抽出エキス入り芝生専用生育活性剤酢酸
- 内容成分：クエン酸、ステビア抽出エキス
- 包装：10L
- 施用目安：500倍希釈し、500ml～1L/m²で散布

- 高温下で二酸化炭素の吸収が追いつかず、光合成能が落ちて生育が停滞した植物に与えると、エネルギー回路を円滑にし、活性を高めるため、植物がシャキッとします。
- クエン酸・ステビア（糖質）により、基礎代謝の促進、発根の促進が期待できます。

- 抗酸化物質を含むため、植物体内で発生する活性酸素を消去し、エネルギー生成を円滑にします。
- 製品は強酸性（pH1.6）です。必ず希釈してご使用ください。
- アルカリ性農薬、特に石灰硫黄合剤、ボルドー液との混用は避けてください。

ゲンデル1号・ゲンデル2号

硝酸態窒素配合で速やかに効果を発現



- 肥料名称：硝酸態チッソ・キレート鉄入り有機液肥
- 成分：◆ゲンデル1号
N 8.0（内アンモニア性2.0、硝酸性1.0）
P 3.0
K 5.0
◆ゲンデル2号
N 5.0（内アンモニア性3.0、硝酸性1.0）
P 8.0
K 5.0
- 正味重量：20kg/缶
- 施用目安：[灌水施肥（蔬菜・花卉・芝等）]
300～500倍
[葉面散布（蔬菜・花卉・芝・茶樹等）]
1000倍以上
[原液施肥]
根元より20cm以上離して、葉にかからないよう施用する

- 植物が必要とするアミノ酸が配合されており、生育促進・結実肥大促進が期待できます。
- 微生物のエサとしても利用されるため、土壤微生物が増殖し、地力の維持・増進効果が期待できます。

- 硝酸態窒素配合のため、低温時や施肥直後の肥効が速やかに発現します。
- 鉄分がキレートの形で含まれているため、葉緑素のスムーズな生成が促され、作物の健全な生育を促します。
- アルカリ性農薬との混用は避けてください。